



## 6/22・23 2020年東京大会へむけて！ ～東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー in 荒尾～

▶「金メダルを目標に3年間トレーニングに励みたい」と乗松さん



市役所1階ロビーで、「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」を開催しました。「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた機運の醸成などを目的に、オリンピック旗・パラリンピック旗を全国で巡回展示するというものです。本市出身でウィルチェアーラグビーの日本代表選手としてリオ・パラリンピックに出場し、銅メダルを獲得した乗松聖矢選手も来場し、フラッグを前に東京大会への決意を新たにしました。

## 6/25 豊かな実りへ願いを込めて ～野原八幡宮 御田植祭～

▶神田の外からは、多くのカメラマンが田植え姿を撮影していました



野原八幡宮の境内にある神田で、御田植祭が行われました。菅笠とかすりの着物を着た早乙女たちと、八幡小の児童12人が、歌姫8人の唄う田植え歌の中、田植えを実施しました。ことしはこの神田で収穫された米が、11月に行われる皇室行事の新嘗祭に献上されることとなっています。田植えをした八幡小児童の黒田実里さん、梅本悠和愛さん、北尾悠さんは「上手く稲が植わらず大変でしたが、献上される米を田植えできて楽しかったです」と話しました。

## 6/29 世界の学生たちが市長を訪問 ～ワールドキャンパスインターナショナル～

▶さまざまな経験を通して、学生たちは荒尾の魅力を感じました



6月26日～7月3日までの約1週間、スウェーデン・オランダなど世界8カ国から17人の学生たちが荒尾・大牟田にやってきました。市長との意見交換会では、学生たちから市長へ、市長になってよかったと思うこと、荒尾の好きなところなど、たくさんの質問が飛び交い、幅広い視点で交流を深めていました。その他滞在中には、ホームステイや刀鍛冶見学、中央小学校訪問などを通して、日本文化に触れたり、子どもたちと楽しい時間を過ごしたりしました。

## 6/30 市の環境美化への多大なる貢献 ～環境美化功労者表彰～

▶表彰式後には参加者全員で記念撮影をしました



長年、ボランティアで市内の環境美化などの活動に尽力された団体と個人の功績を称えて、環境美化功労者表彰式を行いました。ことしは、牛水上区老人会、桜山校区生活会議さくら会、住吉町子ども会の3団体と河津征一さん、末吉税さんの2人を表彰し、牛水上区老人会長の隅倉さんが「私たちの活動が、美化意識の向上に少しでもつながれば」と代表謝辞を述べました。どなたも、道路、公園などのごみ拾いや草刈りなどを5年以上続け、住みよい環境のまちづくりに貢献されました。

## 地域の活動 掲示板

### 万田公園前花壇除草作業



井手川地区協議会

### ペタンク大会



荒尾地区協議会

### シンボル花壇植栽



一小校区元気づくり委員会

### 球技(ビーチボールバレー)大会



清里地区協議会

### ペタンク大会



万田中央地区協議会

### 親子ボウリング大会



緑ヶ丘地区協議会

## 6/30 新規雇用増で地域の活性化へ ～新工場の協定調印式～

▶10月に着工し、来年5月からの操業開始を予定しています



(株)エイチ・ピー熊本プロダクツ(袴田喜則社長：写真左端)が、水野北工業団地内の自社敷地内に新しく工場を増設することとなり、奥歯商工観光労働部長(写真右端)立ち会いのもと、市と「工場増設に関する協定」を締結しました。同社は、平成11年に本市に進出。プラスチック成型部品を生産しており、自動車用プラスチック部品の増産に伴い、新たに4億6千万円の設備投資を行い、工場を建設することになりました。また、増設に伴い、12人の新規雇用が予定されています。

## 7/1～7/8 版画と俳句の奥深い世界へ ～坂田燦「奥の細道」版画展～

▶「作品を通じてふるさとに恩返しができる」と坂田さん(右端)



文化センター自主文化事業「坂田燦『奥の細道』版画展」が開催されました。境崎東区出身の坂田燦さんは、美術教諭を22年間、その後は県立美術館副館長などを歴任される傍ら、一芸術家として、松尾芭蕉の「奥の細道」の足跡を長い歳月をかけてたどられ、その俳句の情景を木版画50点に表現されました。版画展の開催を記念して市に寄贈された「平泉の中尊寺」は、奥州藤原三代の栄華の夢を想い芭蕉が詠んだ名句「五月雨の降りのかしてや光堂」の版画です。